

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：2月レポート

野村亮輔（研究推進部）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●3月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、**2月の訪日外客総数(推計値)は147万5,300人**となった(前月：149万7,300人)。2019年同月比では-43.4%(前月：同-44.3%)と、回復基調が続いている。また、**1-2月期では297万2,600人と、爆買いが始まった15年1-2月期の水準(260万5,375人)を上回るペース**となった。

▶2月の出国日本人数は53万7,700人と前月(44万3,104人)から増加し、50万人超の水準まで回復した(19年同月比-65.0%)。

▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表3)、**韓国が56万8,600人**(2019年同月比-20.6%)と**最多**で、2カ月連続で**50万人超の水準**となった。次いで台湾24万8,500人(同-37.8%)、香港11万9,800人(同-33.4%)、米国8万9,600人(同-6.2%)、タイ7万3,300人(同-32.0%)と続く。

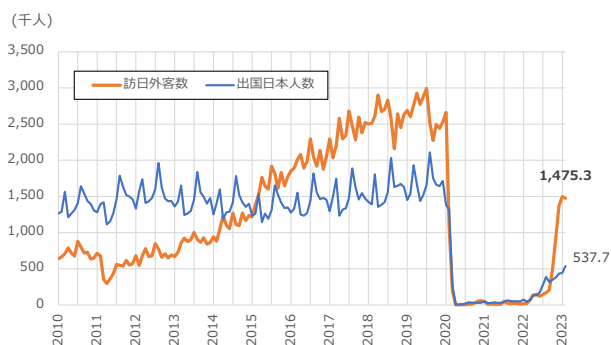
▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図2及び表3)、12月は137万114人**となった(2019年同月比-45.8%)。うち、**観光客は125万2,391人**と、**20年1月(228万7,755人)以来、100万人を超えた**(同-45.4%)。商用客は5万1,942人(同-58.2%)、**その他客は6万5,781人**(同-40.3%)であった。

▶2022年通年の目的別訪日外客総数(暫定値)は、383万2,110人、19年比-88.0%となった。うち、**観光客は水際対策の大幅緩和が影響し、248万7,835人と前年(6万6,387人)から大幅増加した**(同-91.2%)。また、商用客は42万2,361人(同-76.0%)、その他客は92万1,914人(同-50.6%)であった。

▶12月の観光客のTOP5を国・地域別にみれば(図3及び表3)、**韓国が43万7,570人**(2019年同月比+108.1%)と**最多**で、コロナ禍前の2019年の月平均ペース(**41万9,745人**)を上回った。次いで台湾が16万3,739人(同-50.7%)、香港が13万9,621人(同-43.2%)、米国が9万9,693人(同-20.2%)、タイが8万463人(同-49.9%)と続く。

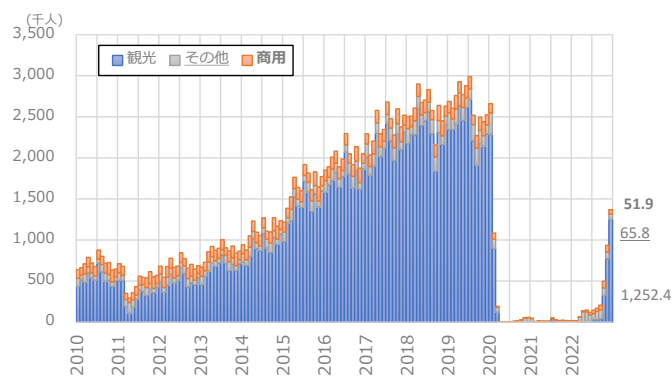
▶先行きの訪日外客数の回復については、訪日中国人客の動向が重要となろう。これまで中国との直行便の到着は成田空港、羽田空港、関西国際空港、中部国際空港の4空港に限定されていたが、水際対策緩和に伴い、3月1日以降、**上記空港以外への入国も認められた**。加えて、成田空港、羽田空港などで中国-日本間の直行便の復便や増便も予定されている。このため今後、訪日中国人客数の回復が期待されよう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



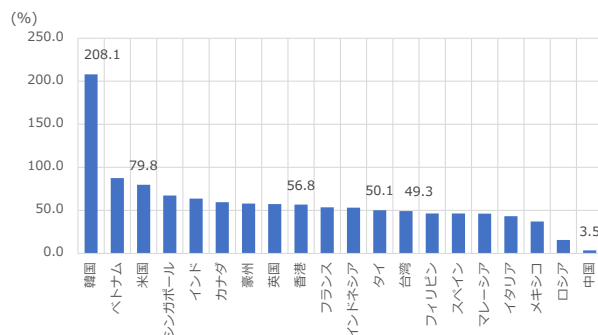
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2021年まで確定値、22年は暫定値、23年1-2月は推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 国・地域別コロナ禍前の水準比較：観光客：
22年12月



出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。
注)なお、TOP5の国・地域は値を表示している。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

● 2月関西の財貨・サービス貿易及び1月のサービス産業動向

▶ 関西 2月の輸出は前年同月比+5.1%と2カ月ぶりに増加した(図4)。また、輸入額は同+0.2%と25カ月連続の増加だが、伸びは小幅にとどまった(前月:同+7.3%)。結果、関西の貿易収支は+2,527億円と2カ月ぶりの黒字となった(同+45.3%)。ただし、前月は春節休暇の影響で大幅な赤字であったため、1-2月を均してみれば、-139億円の小幅赤字となっている。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西2月の対中輸出は前年同月比-4.4%と2カ月連続で減少した(前月:同-12.4%)。また、対中輸入は同-0.8%と10カ月ぶりの減少(前月:同+2.9%)。輸出減に寄与した品目は非鉄金属、コンデンサー等で、輸入減に寄与した品目は衣類及び同附属品、事務用機器等であった。

▶ 2月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は36万9,191人と、3カ月連続で30万人超の水準となった。2019年同月比では-45.3%と前月(同-45.4%)とほぼ同程度落ち込みであった。1-2月期では74万8,489人となり、全国と同様に15年1-2月期の水準(62万4,459人)を上回っている。また、2月の日本人出国者数は8万8,078人で、前月(6万3,437人)から増加した。2019年同月比では-71.2%と、11カ月連続で減少幅は縮小しているが(前月:同-78.0%)、インバウンド需要に比してアウトバウンド需要の回復のペースは依然緩慢である。

▶ 1月のサービス業の活動は、対面型サービス業を中心に改善した。

サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、1月は100.5で前月比+0.9%上昇し、3カ月ぶりのプラスとなった(前月:同-0.4%)。結果、1月は10-12月平均比+0.6%となった(10-12月期:前期比+0.3%)。また、対面型サービス業指数*は96.1で同+5.8%上昇し、2カ月ぶりのプラス(前月:同-1.1%)。うち、娯楽業(同+11.6%)、飲食店、飲食サービス業(同+8.1%)や運輸業(同+6.0%)がそれぞれ改善した。1月の対面型サービス業指数を10-12月平均と比較すれば+5.3%として好調である(10-12月:前期比+1.3%)。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、87.0と前月比+1.4%上昇し、2カ月連続のプラス(前月:同+1.8%)(図7)。結果、1月は10-12月平均比+2.0%となった(10-12月期:前期比+4.9%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

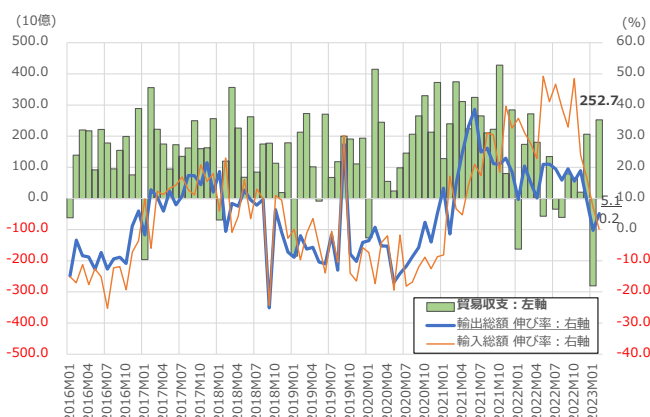
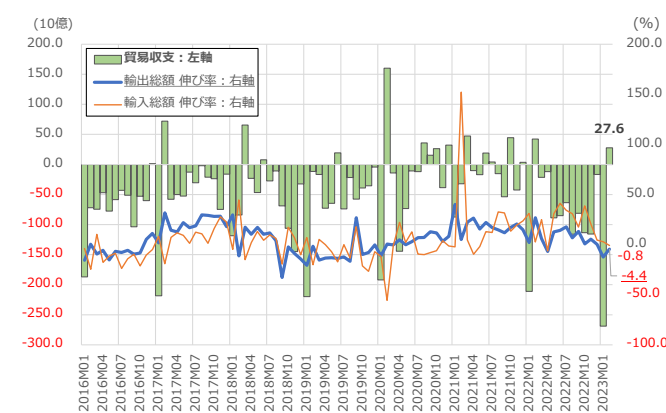
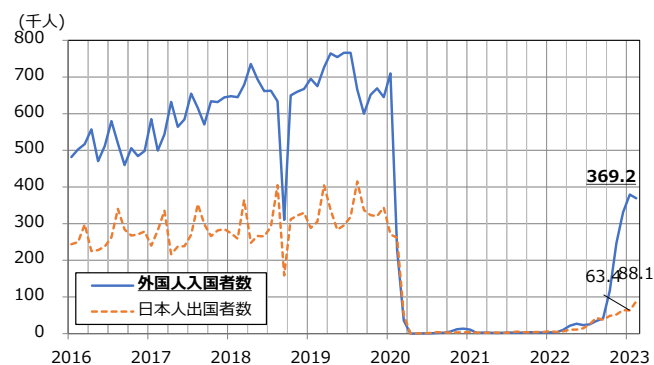


図5 関西 対中貿易の推移



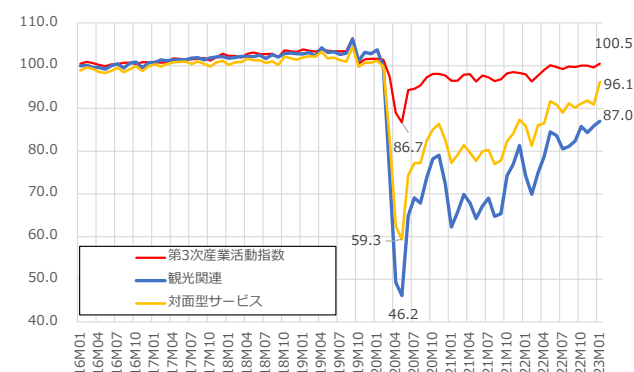
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2023年2月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●12月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、12月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は9,828.6千人泊であった(表1)。2019年同月比+0.1%と前月(同-7.3%)から小幅プラスに転じ、コロナ禍前を上回った。

▶日本人延べ宿泊者数は8,301.0千人泊、2019年同月比+12.7%と3カ月連続で増加した(前月：同+11.2%)(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,875.9千人泊、京都府2,088.4千人泊、兵庫県1,210.9千人泊、三重県693.0千人泊、和歌山県362.2千人泊、滋賀県324.5千人泊、福井県250.4千人泊、奈良県174.3千人泊、鳥取県169.3千人泊、徳島県152.2千人泊であった。2019年同月比では、福井県、滋賀県、鳥取県、徳島県を除く府県がプラスとなった。

▶外国人延べ宿泊者数は1,527.6千人泊と前月(1,155.4千人泊)から増加した。2019年同月比-37.7%と減少幅は前月(同-59.3%)から縮小(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府839.4千人泊、京都府589.1千人泊、兵庫県40.5千人泊、和歌山県17.9千人泊、滋賀県11.8千人泊、奈良県11.5千人泊、三重県8.9千人泊、徳島県4.5千人泊、福井県2.0千人泊、鳥取県2.0千人泊であった。2019年同月比でみると、京都府(同-26.2%)、大阪府(同-40.3%)では着実に回復しつつある。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,808.6千人泊(2019年同月比+42.9%)、県外は7,813.1千人泊(同-2.1%)であった。伸びをみれば、県内は15カ月連続のプラス。また、県外は前月(同-8.9%)から減少幅は縮小しており、コロナ禍前を回復しつつある。

▶2022年の関西の延べ宿泊者数は8,794.3万人泊、19年比-29.0%となった(21年：5,787.1万人泊、同-53.3%)。うち、日本人延べ宿泊者数は8,393.3万人泊(同-6.9%)、外国人延べ宿泊者数は400.5万人泊(同-88.1%)であった。22年10月から行われた全国旅行支援事業と水際対策の大幅緩和が、日本人及び外国人宿泊者数の回復に好影響した。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

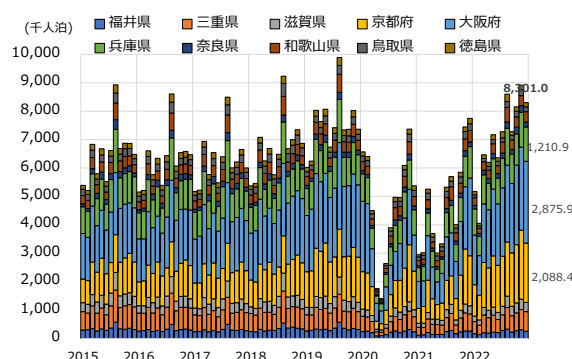


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

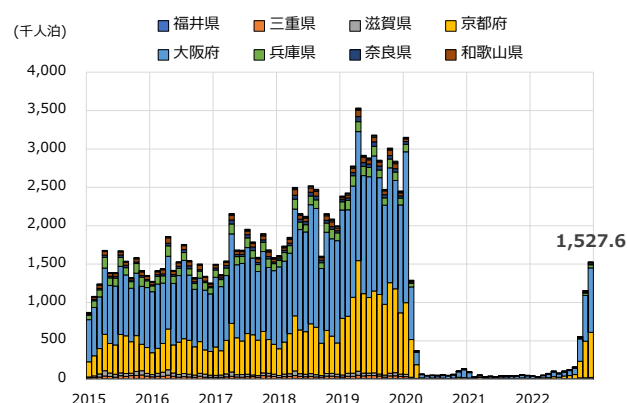
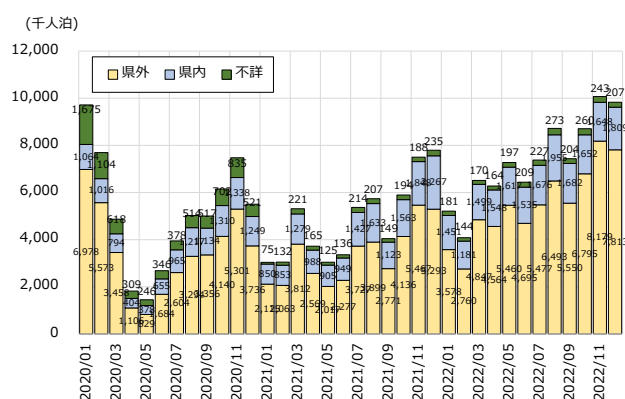


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：12月

2022年12月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)
福井県	252.4	-2.3	-22.2	250.4	-2.8	-20.6	2.0	162.7	-77.5
三重県	701.9	15.7	7.2	693.0	14.4	10.4	8.9	674.8	-67.3
滋賀県	336.4	17.3	-5.9	324.5	13.5	-0.7	11.8	1,048.5	-61.7
京都府	2,677.5	51.1	12.1	2,088.4	18.5	31.4	589.1	5,669.7	-26.2
大阪府	3,715.3	34.5	-5.9	2,875.9	5.3	13.0	839.4	2,593.9	-40.3
兵庫県	1,251.3	12.4	8.6	1,210.9	9.0	13.9	40.5	1,366.3	-54.8
奈良県	185.8	12.6	-3.3	174.3	6.3	7.7	11.5	1,122.3	-62.1
和歌山県	380.1	-5.7	-1.4	362.2	-9.9	4.1	17.9	1,980.2	-52.6
鳥取県	171.3	-27.6	-24.3	169.3	-28.3	-19.9	2.0	426.3	-86.4
徳島県	156.7	-17.5	-15.5	152.2	-19.7	-13.1	4.5	1,197.1	-55.8
関西2府4県	8,546.4	31.4	1.4	7,036.2	9.0	16.6	1,510.2	3,115.9	-36.9
関西2府8県	9,828.6	26.1	0.1	8,301.0	7.2	12.7	1,527.6	2,980.5	-37.7
全国	46,904.1	19.7	-0.5	40,923.5	5.3	7.8	5,980.6	1,711.9	-34.9

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8～10及び表1)

表2 2023年2月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	2月	2月		1-2月	1-2月	
総数	2,604,322	1,475,300	-43.4	5,293,661	2,972,600	-43.8
総数(中国除く)	1,814,899	1,388,800	-23.5	3,678,164	2,802,200	-23.8
韓国	715,804	568,600	-20.6	1,495,187	1,133,800	-24.2
中国	723,617	36,200	-95.0	1,478,038	67,400	-95.4
台湾	399,829	248,500	-37.8	787,327	507,800	-35.5
香港	179,324	119,400	-33.4	333,616	271,300	-18.7
タイ	107,845	73,300	-32.0	200,494	136,700	-31.8
シンガポール	26,102	27,100	3.8	48,778	53,800	10.3
マレーシア	36,660	32,000	-12.7	68,059	59,100	-13.2
インドネシア	24,622	26,800	8.8	57,099	49,400	-13.5
フィリピン	35,170	33,900	-3.6	71,157	63,600	-10.6
ベトナム	39,377	55,800	41.7	74,752	107,300	43.5
インド	9,071	7,100	-21.7	21,539	16,100	-25.3
豪州	47,658	37,700	-20.9	128,721	90,300	-29.8
米国	92,669	86,900	-6.2	195,860	175,000	-10.7
カナダ	23,883	19,000	-20.4	46,176	37,700	-18.4
メキシコ	2,889	2,300	-20.4	6,504	4,600	-29.3
英国	23,554	15,600	-33.8	45,108	30,700	-31.9
フランス	17,397	12,300	-29.3	32,717	22,100	-32.5
ドイツ	13,384	9,300	-30.5	24,742	16,700	-32.5
イタリア	5,897	4,600	-22.0	11,930	8,900	-25.4
ロシア	4,533	3,300	-27.2	8,915	6,400	-28.2
スペイン	5,601	1,400	-75.0	11,917	3,000	-74.8
中東地域	3,630	3,900	7.4	7,566	7,900	4.4
その他	65,806	50,300	-23.6	137,459	103,000	-25.1

表3 2022年12月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	12月	12月		12月	12月		12月	12月		12月	12月	
総数	2,526,387	1,370,114	-45.8	2,292,029	1,252,391	-45.4	124,260	51,942	-58.2	110,098	65,781	-40.3
韓国	247,959	456,165	84.0	210,261	437,570	108.1	22,621	11,665	-48.4	15,077	6,930	-54.0
中国	710,234	33,567	-95.3	645,786	22,466	-96.5	32,067	4,534	-85.9	32,381	6,567	-79.7
台湾	348,269	170,159	-51.1	332,446	163,739	-50.7	10,054	4,153	-58.7	5,769	2,267	-60.7
香港	249,642	141,314	-43.4	245,797	139,621	-43.2	2,847	1,112	-60.9	998	581	-41.8
タイ	164,936	82,997	-49.7	160,472	80,463	-49.9	2,496	1,272	-49.0	1,968	1,262	-35.9
シンガポール	100,376	67,043	-33.2	97,736	65,699	-32.8	2,300	1,192	-48.2	340	152	-55.3
マレーシア	78,250	36,228	-53.7	75,655	34,938	-53.8	1,807	905	-49.9	788	385	-51.1
インドネシア	59,203	34,411	-41.9	54,273	28,874	-46.8	1,989	1,086	-45.4	2,941	4,451	51.3
フィリピン	81,542	39,953	-51.0	75,778	35,189	-53.6	2,083	1,574	-24.4	3,681	3,190	-13.3
ベトナム	30,606	28,197	-7.9	10,055	8,800	-12.5	2,766	1,787	-35.4	17,785	17,610	-1.0
インド	11,739	7,447	-36.6	5,264	3,348	-36.4	3,839	2,126	-44.6	2,636	1,973	-25.2
豪州	72,653	41,835	-42.4	68,892	39,842	-42.2	2,052	1,015	-50.5	1,709	978	-42.8
米国	144,498	109,484	-24.2	124,956	99,693	-20.2	14,447	7,004	-51.5	5,095	2,787	-45.3
カナダ	35,132	20,610	-41.3	32,839	19,559	-40.4	1,401	614	-56.2	892	437	-51.0
メキシコ	6,499	2,497	-61.6	6,138	2,274	-63.0	224	142	-36.6	137	81	-40.9
英国	27,750	15,297	-44.9	22,695	12,987	-42.8	3,397	1,365	-59.8	1,658	945	-43.0
フランス	20,261	10,770	-46.8	16,403	8,787	-46.4	2,473	1,284	-48.1	1,385	699	-49.5
ドイツ	13,639	7,745	-43.2	9,799	5,756	-41.3	2,954	1,491	-49.5	886	498	-43.8
イタリア	11,196	4,930	-56.0	9,662	4,172	-56.8	1,163	541	-53.5	371	217	-41.5
ロシア	8,833	1,583	-82.1	7,032	1,095	-84.4	1,259	230	-81.7	542	258	-52.4
スペイン	7,295	3,485	-52.2	6,509	3,020	-53.6	495	274	-44.6	291	191	-34.4
中東地域	5,554	4,764	-14.2	4,504	4,135	-8.2	747	478	-36.0	303	151	-50.2
その他	90,321	49,633	-99.5	69,077	30,364	-99.6	8,779	6,098	-99.3	12,465	13,171	-98.9

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2023年3月15日付より筆者加工